

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

平成30年度 柳津町立会津柳津学園中学校

# 学校だより

平成30年10月 5日(金)発行 第 23 号 発行責任者:高橋 弘悦

# 10月



1年の中で文化的行事、体育的行事などがもつとも盛んに行われる月です。こうした行事に追われることなく、落ち着いた生活ができるようにさせたいと思います。また、各種行事に積極的に参加させ、実り多いものにしていきます。

## 【具体的指導】

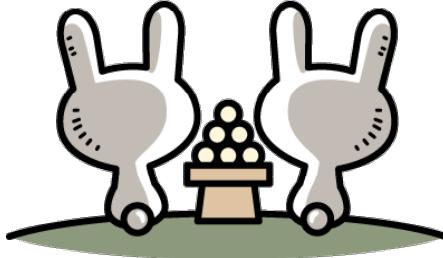
### 1. 生活指導

- (1) 基本的生活習慣の育成のため、継続指導を進める。
  - ①服装を整えさせる。(衣替え→移行期間 10月第1週)
  - ②けじめのある生活をさせる。
  - ③あいさつをしっかりさせる。
- (2) 整理整頓や環境美化に努める。
  - ①諸行事に向けての校舎内外の環境美化に心がける。(活動後の整理整頓)
  - ②清掃活動への真剣に取り組ませる。
- (3) 対外行事でのマナーを徹底させる。
  - ①大会への参加・応援のマナーに気をつけさせる。



### 2. 学習指導

- (1) 意欲的な学習習慣・態度の育成を図る。
  - ①学習用具・宿題を忘れないようにさせる。
  - ②授業へ集中させる。
- (2) 中間テストへ積極的に取り組ませる。
  - ①今までの取り組みを反省させる。
  - ②学習計画を作成させる。
- (3) 高校受験への意欲的な取り組みについて考えさせる。
  - ①毎日の学習・整理と研究・定期テストに積極的に取り組ませる。
  - ②目的をもった進路選択をさせる。



### 3. 学級指導

- (1) 学校行事の準備を計画的に行う。(文化祭、校内駅伝大会、野外活動等)
- (2) 文化祭への取り組みを充実させる。

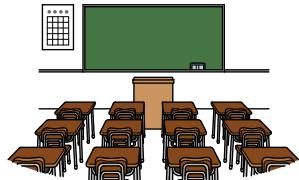
# 中間テストは終わったけれど…

## —いまこそ大事！学習の総点検—

第2学期の中間テストが終了しました。どの学年も、真剣に取り組む態度が見られ、忙しい中よく頑張っていました。「努力は決して裏切らない。」やつただけの成果がきっと得られることだと思います。

これからテストが採点され、返ってきますが、間違った部分やわからなかつたところはもう一度学習する。また、得点からは自分の2学期の学習態度を反省するきっかけとして欲しいと思います。

「わからないものはそのままにしない」「できるようになるまでがんばる」など、強い姿勢で学習に臨む習慣を、この機会にぜひ身につけて欲しいものだと思います。



### 納得解

広中平祐という数学者がいます。昭和45年に数学界のノーベル賞ともいわれるフィールズ賞を受賞した世界的な数学者です。

ある日、数学のテストが行われました。難しい証明の問題で、広中さんの答えは正解ではなかったそうです。数日後、答案が返されると、なんと広中さんの答案には100点と書かれています。採点間違いだと思った広中さんは、正直に答案を差し出します。すると数学の先生は、次のようにいわれたそうです。

「確かにキミの答えは間違っている。しかし、答えを導き出そうとした考え方の道筋は大変素晴らしい美しいものだ。だから、私はキミの答案に○をつける」

この出来事をきっかけとして広中さんは数学がたまらなく好きになり、世界的な数学者 広中 平祐 が誕生したのです。

確かにテストにおける「正解」は大切なものです。しかし、将来出会うであろう世の中の問題に、絶対的な「正解」は必ずしも多くありません。ある面からは正解でも、別の立場からは不正解であることが往々にしてあるものです。あるのは、「正解」ではなく「納得解」です。

「納得解」とは、根拠をもとに筋道を立てて自分の考えを主張していく考え方です。「なるほど、キミの考えは確かに頷けるよね」と言ってもらえる思考方法です。

今後、高校入試も大学入試も大きな変更が予定されていますが、ここで求められることは、こうした「筋道を立てて考え、説明できる」能力です。

これまで、与えられた知識をしっかり記憶し、それを引き出す能力が求められてきましたが、これからは、知識を活用して自分なりの考え方を導き出す能力が求められるようになります。授業でも、知識を憶えることに加えて、自分なりの考え方をしっかり説明できる能力を高めていきたいと思います。



### 訃報

本校3年生 齋藤 翔也 さんの実父 齋藤 忠男 様（45歳）が、10月4日（木）にご逝去されました。ここに、謹んで哀悼の意を表しますとともに、お知らせいたします。

＜葬儀・告別式＞

1 日 時 平成30年10月 7日（日）12時30分より

2 場 所 みどり柳津斎苑

3 哀 主 菅家 裕記 様